



苓北町議会だより

きずな



町木「ツバキ」

88

2014年1月21日発行
(平成26年)

●あなたと議会のかけ橋に



消防 出初め式

町花「はまゆう」



【主な内容】

- 議長挨拶 2
- 定例会 3~7
- 全員協議会 他 8
- 一般質問 9~12
- 傍聴記 13

※ご一読後保存してください。

議会の主な動き

平成25年10月~26年1月

10月

- 11日(金) 常任委員長会議
- 22日(火) 町民福祉常任委員会
- 26日(土)~27日(日) 全国豊かな海づくり大会(熊本市・天草市)
- 31日(木)~11月1日(金) 議員視察研修

11月

- 6日(水) 第21回議会臨時会
- 7日(木) 天草広域連合議会定例会(天草市)
- 8日(金) 常任委員長会議
- 12日(火)~13日(水) 総務常任委員会視察
- 12日(火)~14日(木) 第57回全国町村議会議長大会(東京)

11月

- 21日(木) 天草地域国道道路整備促進要望活動(県庁)
- 21日(木) 議会広報研修会(熊本市自治会館)
- 21日(木)~22日(金) 国保運営協議会研修(熊本市)
- 23日(土)~25日(月) 関東ふるさと苓北会総会(東京)
- 27日(水) 議会運営委員会
- 28日(木) 県民体育祭実行委員会解散総会(天草市)

12月

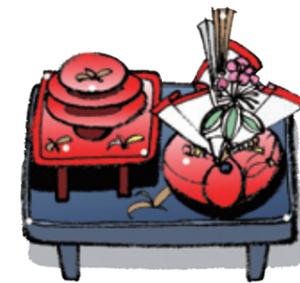
- 12日(木)~13日(金) 第22回議会定例会・全員協議会
- 14日(土) 島原・天草・長島架橋構想及び九州西海岸軸構想推進講演会(天草市)
- 25日(水) 県町村議会議長会理事会(熊本市)

議会広報特別委員会 12月13日・27日 1月7日・10日・14日

議事録は『**苓北町役場ホームページ**』
http://www.reihoku-kumamoto.jp/outline/gikai_v1.htm
 で閲覧できます。

次の定例会は
3月です。

皆様の傍聴をお待ちしております。
 (12月定例会の傍聴者は57名でした。)
 臨時会は不定期に開かれます。



編集後記

新年明けまして、おめでとうございます。
 昨年の世相を現す漢字一文
 字は「輪」になりました。
 東京五輪の誘致に成功した
 こと、各大災害で支援の輪が
 広がったこと、日本サッカー
 代表が輪を象徴するユニホー
 ムにしたこと、東北楽天イ
 グルスが優勝し喜びの輪が広
 がったことなどの理由で選ば
 れたそうです。
 私たち議員も残り一年の任
 期となりました。
 議会は、住民の声を反映さ
 せるとともに、行政のチェッ
 ク機関であります。町民皆様
 の両輪となり、今年も苓北町
 の益々の発展と、安心して暮
 らせる町づくりに向けて、尚
 一層の努力をして参りたいと
 思います。
 新年早々成人式があり、ピ
 シットしたスーツ姿や、華やか
 な振袖の成人者を見て町の未
 来に光と輝きを感じ、エネル
 ギーを戴きました。今後の皆
 様方のご活躍を期待致します。
 本年も皆様にとって良い年
 でありますよう、お祈りしま
 す。
 議会広報特別委員会

年頭に寄せて

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より皆様方には町議会に対し、ご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

安倍政権誕生から一年、発足と同時に景気回復へ向けた国の緊急経済対策に伴い、昨年本町においては都呂々港防波堤嵩上工事をはじめ、志岐漁港海岸並びに富岡港臨港道路へのアクセス道路整備や志岐小屋内運動場改築工事など二十件の事業に取り組みました。

また、六月には仮称「第二天草瀬戸大橋」の事業着手記念式典が行われ、いよいよ事業がスタート致します。これに関連した「熊本天草幹線道路」整備促進を、議会として昨年に引き続き、新年度も県知事並びに県議会議長に要望致す予定です。

このような中、政府・与党は、道州制導入法案を国会に提出しようとしています。既に野党の「日本維新の会」「みんなの党」は共同で「道州制へ移行のための改革基本法案」を昨年の第一八三回通常国会へ提出し、閉会中の委員会審査となっています。

そもそも、道州制が導入された場合、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村は事実上の強制合併を余儀なくされ、結局は大都市やインフラ整備がされた中心地域に、ヒト・モノ・カネが一極集中し、地域間格差拡大がさらに懸念されている。しかも、

この道州制という国の形、根幹を変える極めて大事な案件は、国民に全く知らされていない。我々、全国町村議会議長会では、有識者を交えた検討委員会を設置し対応しているが、昨年九月、政府に対し、『道州制の導入は、町村の存亡、住民自治の崩壊に繋がるものであり、地方自治の根幹を揺るがすものである。』として断固反対の意見書を提出し、苓北町議会も昨年九月議会で、反対意見書を内閣総理大臣と衆議院、参議院議長などへ提出したところであり、

そして、県内三十一全町村議会も反対意見書を提出しております。また、昨年十二月には全国町村会でも、道州制の導入そのものに反対の旨を、自由民主党道州制推進本部に伝えています。

いま、町村を取り巻く環境は、少子高齢化と人口減少に伴い、一段と厳しくなっていますが、引き続き防災・福祉・教育・産業振興などを目指し住民皆様とともに、活力ある町づくりに取り組みんでまいります。

今年も、町議会並びに広報「きずな」をよろしくお願い致します。結びに、皆様方の益々のご健勝と、苓北町のさらなる発展を心からご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

平成二十六年 元旦



苓北町議会 議長
倉田 明



冊に届く模様。体力面・学校運営は問題ない。

○坂瀬川小学校

学力を示す標準学力検査の数値は町内トップである。中学校との情報交換、月1回の授業参観の取り組みは、開かれた学校という意味で評価できる。学校運営面でも問題ない。

○坂瀬川中学校

今年11月6日、町指定学力充実研究発表会で成果を発表した。総じて学力は高く、特に2・3年生は県や全国平均を上回っている。体力面でも問題はなく、郡市中体連では好成績を残している。学校運営面も特に問題はない。

○学校給食共同調理場

衛生管理の徹底や地元食材を使った地産地消に取り組んでいる。毎月「苓北ぱくぱく新聞」の発行等食育にも取り組み良好な運営がなされている。施設建設から12年経過し、設備の耐用年数の調査・更新が必要と思われる。

○各中学校は、平成27年4月の統合に向けた作業に着手されており、予算確保や各学校の実績資料(賞状・カップ・優勝旗等)や卒業記念写真などの保存に対する要望があった。

○その他各学校の要望事項については、予算面も含めて善後策の検討が必要である。

今年も、町議会並びに広報「きずな」をよろしくお願い致します。結びに、皆様方の益々のご健勝と、苓北町のさらなる発展を心からご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

○志岐小学校

学力面では若干全国平均を上回っている。男子より女子の方が成績は優位。体力面や学校運営においても特段問題はない。

○苓北中学校

生徒の中に教師の指導に従わない者が数名おり、他の生徒の障害となっている。高校受験や統合問題を控え、学校が対応に苦慮している現状では、教育委員会だけではなくPTAや地域全体での早急な対応が必要と思われる。

○富岡小学校

学力面では毎週木曜日「あこうタイム」の取り組みで、昨年に比べて大きく改善した。読書も年間一人100冊に届く模様。体力面・学校運営は問題ない。

○都呂々小学校

学力面で教科により全国平均をやや下回るものが見られるが、体力面では殆ど全国平均を上回っている。学校運営は特に問題はない。

○都呂々中学校

学力面で教科により全国平均をやや下回るものが見られるが、体力面では殆ど全国平均を上回っている。学校運営は特に問題はない。

○志岐小学校

学力面では若干全国平均を上回っている。男子より女子の方が成績は優位。体力面や学校運営においても特段問題はない。

○富岡小学校

学力面では毎週木曜日「あこうタイム」の取り組みで、昨年に比べて大きく改善した。読書も年間一人100冊に届く模様。体力面・学校運営は問題ない。

第21回臨時会

11月6日(水)

議案第205号(原簿法)

●請負契約「防災行政無線施設デジタル化工事」の締結について

指名競争入札

契約金額

5千7百44万9千7百円

契約の相手方

電子技術応用株式会社

内容

46局のうち15局をデジタル化へ変更及び、電柱3本立替

総務常任委員会

1. 調査事件名

管内小中学校7校の運営状況等についての視察調査

2. 調査の経過

一. 調査期日

平成25年11月12日(火)

都呂々小・中学校、志岐小・苓北中・富岡小学校

平成25年11月13日(水)

坂瀬川小・中学校、学校給食共同調理場

二. 出席委員

委員長

大仁田藤男

副委員長

野崎 幸洋

委員

山下 時義

三. 欠席委員

委員

松野 重幸

四. 委員外の出席

なし

五. 執行部出席

教育委員会 山崎課長

野田・本田課長補佐

調理場 佃場長・富崎栄養士

六. 委員会書記

山口議会事務局長

七. 調査の内容

学校の教育方針及び教育の現状について

八. 視察調査・結果の概要

事前に教育委員会を通して依頼していた調査項目の聴取と意見交換を行った。

○都呂々小学校

学力面では毎週木曜日「あこうタイム」の取り組みで、昨年に比べて大きく改善した。読書も年間一人100冊に届く模様。体力面・学校運営は問題ない。

報告第34号

●所管事務の調査結果報告について

町民福祉常任委員会

1・調査事件名
所管事項についての視察調査を実施

2・調査の経過

1・調査期日
平成25年10月22日(火)

2・調査先

坂瀬川地区の農業集落排水処理施設と下水道最終処理施設・老人福祉センター・笹尾浄水施設

水処理施設
※当該施設の利用料及び維持管理費の収支について
利用料収入254万5,750円(鶴・木場合計)。維持管理費409万4,557円。154万8,517円の赤字。
赤字分は一般会計からの繰入金で埋めている。
今後加入者が自然に減少していくと見込まれる中において、処理施設の維持管理費は老朽化が進み微増すると考えられる。

●苓北町下水道終末処理施設

利用世帯数2,111世帯(町内世帯の82・75%)
※当該施設の利用料及び維持管理費の収支について
使用料収入9,768万4,820円。維持管理費1億1,488万7,808円。1,718万5,988円の赤字。
赤字分は一般会計からの繰入金で埋めている。今後施設の老朽化が進む中で、更新事業が必要である。

3・調査の内容
下水道関連施設

●坂瀬川鶴地区農業集落排水処理施設
●坂瀬川木場地区農業集落排水

●苓北町老人福祉センター
○当該老人福祉センター施設の概要並びに運営状況。

●その3(レイジユウ) 10%

●その4(横山建設) 30%

⑤白木尾海岸崩落箇所

雨水排水による浸食が見られるので、畑の崩落防止策を検討されたい。

⑥志岐漁港臨港道路・海岸保全工事の進捗状況

●臨港道路(1,415mの内820m区間について発注済) 57・9%

●海岸保全事業(600mの内、護岸部は600m発注済み。事業費ベースで97%。天端部分の植栽事業及び町の単独事業等が残る。



都呂々港湾改修工事現場

建設経済常任委員会

●所管事務の調査(合同視察研修)結果報告について

三常任委員会合同視察

1・視察研修の目的

本町における遊休農地の活用策の参考とするため天草市のオリーブ園を視察、また本年10月に水銀の取り扱いを規制する「水俣条約」が締結されたこと等に伴い水俣エコパーク、水俣病資料館を、さらに芦北町の取り組みとして町立星野富弘美術館、女島工業団地に新しく建設されたメガソーラを視察した。尚、この研修は、平成25年度熊本県町村議会議員研修会に合わせて実施した。

2・視察研修の経過

1・調査期日

平成25年10月31日(木)

2・出席委員

総務・委員長 大仁田藤男
副委員長 野崎 幸洋
委員 山下 時義
町民福祉・委員長 野田 謙二
副委員長 錦戸 俊春
委員 倉田 明

設置目的は地域社会の急速な高齢化に対応するため、地域の高齢者に対して行う福祉事業に関する必要な事項を定め、円滑な事業遂行を図ることを目的とする。
施設運営方針は行政、医療機関と連携して、高齢者が自立した生活が送れるように各種の福祉サービスを展開する。
○施設の利用条件並びに利用の状況。
入浴利用者数は年間8,192人。
デイサービス利用者数は年間1,655人。
宿泊利用者数は年間752人。
※デイサービス利用条件
介護の認定を受けていない高齢者。利用者の査定は包括センターで審査を行い決定する。
上水道
●都呂々ダム笹尾浄水場
給水区域は都呂々地区と富岡地区で1日約1,200m³の水を飲料用として濾過浄化して送り続けている。
現在は経年老朽により、新規機種への更新を同時に行っている。また、自動濾過器3

機への交換(1機は常に待機させる)を行っている。

報告第35号

●所管事務の調査結果報告について

建設経済常任委員会

1・調査事件名

所管事項についての視察調査を実施

2・調査の経過

1・調査期日
平成25年9月27日(金)

2・現地調査場所

志岐城址公園、町道仏木坂線展望所、広域基幹林道苓北天草線、都呂々港(港湾改修工事現場)、白木尾海岸(崩落現場)、志岐漁港臨港道路工事現場、志岐漁港海岸保全工事現場

3・出席委員

委員長 田嶋 豊昭
副委員長 浜口 雅英
委員 神崎 公顕
委員 山本 政人
議長 倉田 明
五・執行部出席
田尻商工観光課長・吉村農林水産課長・荒木補佐・酒

井主任主事・益田土木管理課長・田平主事
六・委員会書記
山口議会事務局局長

七・調査の方法等

担当課の説明を受けながら現地調査を行った。

3・現地視察調査・結果

①志岐城址公園の桜等の植栽状況
●平成23年度
ソメイヨシノ(100本)
ツツジ (1000本)
●平成24年度
ソメイヨシノ(100本)
ツツジ (1000本)
*桜は日本桜の会、ツツジは九州電力から寄贈された。

②町道仏木坂線(展望所の眺望確保について)

●所有者に相談して雑木を伐採し、眺望を確保された。

③広域林道苓北天草線(維持管理の状況について)

●総延長18,773mの内、9km48%除草済

④都呂々港湾改修工事の進捗状況(25年9月27日現在)

●その1(前川建設) 25%
●その2(長浜興業) 35%

報告第36号

●所管事務の調査(合同視察研修)結果報告について

三常任委員会合同視察

1・視察研修の目的

本町における遊休農地の活用策の参考とするため天草市のオリーブ園を視察、また本年10月に水銀の取り扱いを規制する「水俣条約」が締結されたこと等に伴い水俣エコパーク、水俣病資料館を、さらに芦北町の取り組みとして町立星野富弘美術館、女島工業団地に新しく建設されたメガソーラを視察した。尚、この研修は、平成25年度熊本県町村議会議員研修会に合わせて実施した。

3・視察研修の結果の概要
○九電工が経営するオリーブ園(五和町)
天草市と協定を結んだ1・8ヘクタールの土地に、平成22年の春、約1,600本のオリーブを植栽。3年が経過した現在、樹齢は6年〜8年が主である。

○エコパーク水俣及び水俣市立水俣病資料館

チソン水俣工場から流れ出たメチル水銀が原因で起きた公害病の悲惨な歴史資料を見学することで、このような公害を再び繰り返さない決意を再確認した。

○芦北町立星野富弘美術館

芦北町は、水俣病の影響で重度の身障者施設や福祉施設が十数か所つくられ、福祉のまちづくりが進められていた。当時10年間の交渉

副委員長 野崎 幸洋
委員 山下 時義
町民福祉・委員長 野田 謙二
副委員長 錦戸 俊春
委員 倉田 明

の末、平成18年に星野さんの故郷群馬県みどり市につき、全国で2つ目の「芦北町立星野富弘美術館」が開館し、毎年多くの見学者が訪れている。
○芦北町女島工業団地に建設されたメガソーラ
女島埋立地メガソーラは、2事業者が新会社を設立。総事業費約30億円で出力8800万KWh(一般世帯約2,500世帯分)を発電する計画で12月3日に発電を開始した。敷地面積は89,320m²で、町には固定資産税(3年間減免)と土地使用料年間mあたり180円の収入が見込めるとのことであった。
現在計画中の矢城牧場跡地(敷地面積328,502m²で出力21・5メガワット)のメガソーラが完成すると、約20年間に亘って芦北町に年間1億3,000万円に近い収入が見込めるとのこと。



女島工業団地(メガソーラー)



エコパーク水俣

陳情第30号(不採択)
国に対し「消費税の増税中止を
求める意見書」の提出を求める
陳情について(平成25年9月
12日総務常任委員会に付託)

審査報告

1・審査件名

陳情第30号 国に対して
「消費税増税に反対する意
見書の提出を求める陳情」
について

2・審査の経過

平成25年10月2日(水)

二・出席委員

- 委員長 大仁田藤男
副委員長 野崎 幸洋
委員 山下 時義
委員 松野 重幸

三・委員外の出席

議長 倉田 明

四・委員会書記

山口議会事務局長

五・審査の内容

本議会は平成24年6月に
「消費税引き上げに反対す
る意見書」を政府に提出し
たが、同年8月に野田政権
は3党合意で「社会保障の
安定財源の確保を図る税制
の抜本的な改革を行うため
の消費税等一部を改正する
等の法律案」を可決した。
今回の陳情については、検

討する期間が短い中で総理
より増税に対する発表が行
われた。法律で決められた
ことを請願しても覆すこと
はできない。今後、消費税
増税分は当初の目的どおり
借金の減額や社会保障の財
源として有効に使用する施
策をとるよう働きかける必
要がある。

3・審査の結果

陳情第30号「不採択」す
べきものと決定した。

議案第206号(原案可決)

●国民健康保険税条例の一部
を改正する条例

※国民健康保険税の減額す
る額に変更があり、一部
を改正する必要があるた
め。

議案第207号(原案可決)

●介護保険条例の一部を改正
する条例

※地方税法の一部を改正に
伴い改正する必要がある
ため。

議案第208号(原案可決)

●天草広域連合規約の一部変更
※消防本部の移転に伴う住
所変更。

議案第209号(原案可決)

●熊本県富岡ビジターセンタ
ーに関する事務を受託する
ことの協議

※指定管理者から事務受託
へ変更するための協議。

議案第210号(原案可決)

●平成25年度 一般会計補正
予算(第5号)

※一般会計質疑応答から一部
抜粋

町 予算の総額に1億3、5
60万8千円を追加し、歳入
歳出それぞれ51億5、812
万2千円とする。

地域経済対策活性化雇用創
出臨時交付金確定及び、3月
までの精算見込み。国庫補助
金等の、確定に伴う補正が主。

歳入は、町税の精算見込み、
地域経済対策活性化雇用創出
臨時交付金の確定による増。
富岡茂木航路船舶建造補助に
充てるため基金繰入金の増。
温泉センターの省エネ改修事
業が、補助金に該当しなかつ
たことによる、減額等が主。

歳出は、職員の給与等の最
終調整。その他苓北町地域の
元気基金積立金を増額計上。
地方バス運行補助金の増。新
規に長崎天草航路船舶建造補
助金を計上。利用者増に伴う
障害者自立支援介護給付費を
増額。今年度予定していた温
泉センターの、省エネ改修工
事による減額。新たな国の経済
対策に要望する富岡城二の丸

に計画する歴史資料館の設計
業務委託料の増が主。
(質) 二の丸広場に新たな資料
館を想定してある様だが、現
在の旧KDD局舎の建物はど
うするのか。新築物の建設概
算額はどの位か。新たな資料
館の運営内容、人員、維持管
理は。財源の区分は。
(町) 有識者による建設検討委
員会等を設置し、旧建物の活
用方策などを検討。概算工事
費、2億1、400万円。運
営も、検討委員会等で施設、
展示設備等を検討。
歴史資料館の機能を備えた
観光交流センターとして都市
再生整備計画事業で取り組む。
(質) 長崎天草航路の補助金を
計上してあるが、この正式な
会社名、住所、役員と代表者
の名前、資本金、会社におけ
る収支予算は。
(町) 苓北観光汽船株式会社。
本店は富岡2711番地47。
会社の設立年月日は25年9月
4日。発行可能株式総数は5
00株。発行済み株式総数、
220株。資本金220万円。
役員は6名で代表取締役は松
野重幸。株主は11名。収入4、
281万1千円。費用が、5、
919万1千円。1、638
万円の損失損益計算書が出さ
れている。

(質) 純損失1、638万円を、
今後、毎年、町は補填してい
く予定なのか。

(町) 今迄もこの位出して
いた。同じ損失額を出すのであ
れば、町民に給料が、町に税
金が入る。

(質) 町と一体となった協力体
制のため取り交わし文書は。
事業費の契約とか、そういつ
た事はまだ交わしてないのか。

(町) 船が来た段階で契約も進
めたい。契約でなく補助金実
施要綱に基づく。

(質) 船舶代の補助が補正予算
で計上されている、この船代
の支払いの期日はいつか。
先程も質問があったが協定
書が覚書が存在しているの
で。

(町) 基本的な事を申しあげる
と、長崎茂木航路は、絶やさ
ない。町が全額出してでもや
るべき事業だと思っっている。
進水が26年2月13日。引き渡
しが3月13日。契約時9月末
日に3千万。25年12月末に3
千万。竣工時26年3月末日、
残金を支払う。

協定とか、協定書、覚書は、
この、議会にかけの前には結
んでいない。予算通過後、協定
なり、覚書を結ばせて頂いた
い。予算が通ってないのに、確
約なんて、結ぶ事が出来ない。

議案第211号(原案可決)

●平成25年度国民健康保険特
別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ235万
1千円追加し、12億5、6
09万1千円とする。

◎主なもの

歳入 療養給付交付金追加
歳出 高額療養費追加

議案第212号(原案可決)

●平成25年度介護保険特別会
計補正予算(第2号)

8億7、687万5千円と
する。

◎主なもの

歳入 一般会計繰入追加
歳出 一般会計繰入追加

議案第213号(原案可決)

●平成25年度水道特別会計補
正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ85万6千
円追加し、2億8、225
万円とする。

◎主なもの

歳入 一般会計繰入追加
歳出 一般会計繰入追加

議案第214号(原案可決)
●平成25年度下水道特別会計
補正予算(第3号)
歳入歳出それぞれ55万円追

加し、3億2、321万5
千円とする。

◎主なもの

歳入 分担金追加
歳出 一般管理費追加
修繕料減額
設計委託追加

議案第215号(原案可決)

●平成25年度特定地域生活排
水処理事業特別会計補正予
算(第3号)

歳入歳出それぞれ363万
円減額し、4、735万1
千円とする。

◎主なもの

歳入 一般会計繰入減額
歳出 一般管理費減額

議案第216号(原案可決)

●請負契約「温泉センター大
規模改修工事」の締結につ
いて

指名競争入札
契約金額 8千69万2千5百円
契約の相手方 株式会社 カネマツ

内容

屋根部分改修・給湯ポンプ
系統・空調等改修

議案第217号(原案可決)

●後期高齢者医療に関する条
例の一部を改正する条例に
ついて

※地方税法の一部改正に伴い
改正する必要があるため。

議案第218号(原案可決)

●町営住宅管理条例の一部を
改正する条例について

※地方税法の一部改正に伴い
改正する必要があるため。

議案第219号(原案可決)

●特定公共賃貸住宅管理条例
の一部を改正する条例につ
いて

※地方税法の一部改正に伴い
改正する必要があるため。

議案第220号(原案可決)

●税外収入金に係る督促手続
料及び延滞金徴収に関する
条例の一部を改正する条例
について

※地方税法の一部改正に伴い
改正する必要があるため。

陳情等文書表 平成25年12月5日現在

Table with 4 columns: 受理年月日, 番号, 件名, 提出者住所氏名, 結果. Contains 6 rows of petition details.

全員協議会

H25年12月12日(木)

①都呂々ダム建設用地地権者生活安定資金貸付関係について

町が定期預金に積み立て管理している、貸付金の償還に対する債権放棄と条例廃止をしたい旨の説明

②荅北中学校における生徒指導の現状等について

今年度に入り発生した、一部生徒の問題行動に対するこれまでの経緯および、対応・対策の現状についての説明

③中学校統合に向けた専門部の進捗状況について

各中学校の統合準備委員会・専門部会の進捗状況、及び今後の対応についての説明

④議会議長会後について

一般質問の記事記載方法の検討と執行部答弁に対する確認の取り扱いについて

議員全体会議

全員協議会後に開催

②その他

1・議員報酬の引き上げについて

- 平成14年9月議会で、10%減額した報酬額を従前の額に戻すことについて賛否両論あったが、報酬等審議会に諮問することにした。

2・県町村議会議長会経由で

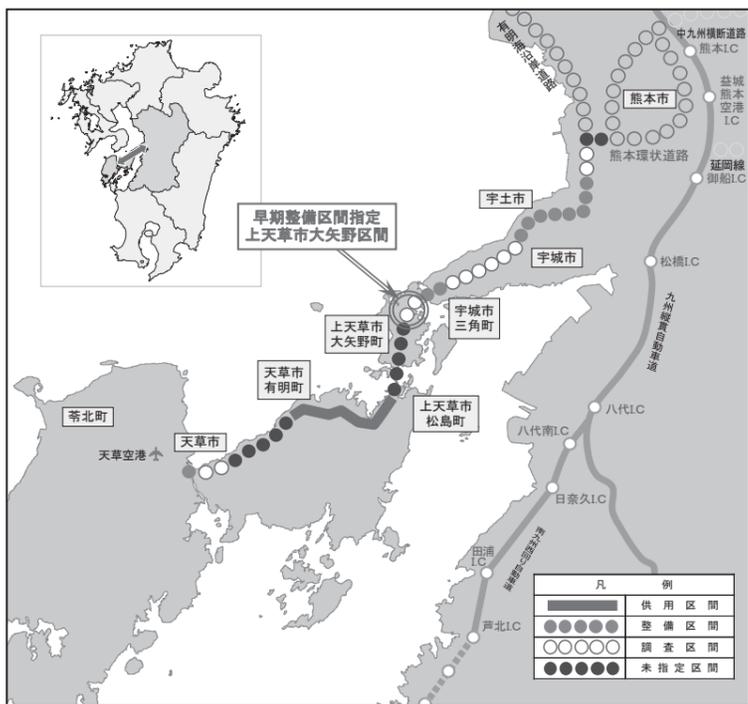
- 地域高規格道路「熊本天草幹線道路」、および接続する国道等の整備促進
- 第2瀬戸大橋の早期完成
- 高規格道路整備完了までの暫定的な支策として、有料道路の通行料金の無償化

提出する「天草郡の要望事項」について

地域高規格道路「熊本天草幹線道路」、および接続する国道等の整備促進

第2瀬戸大橋の早期完成

高規格道路整備完了までの暫定的な支策として、有料道路の通行料金の無償化



熊本天草幹線道路計画図

豊かな海を祈願しタイ・ヒラメなどの稚魚を放流

10月26日「全国豊かな海づくり大会」が、熊本県立劇場において、天皇皇后両陛下をお迎えし、記念式典が行われました。翌27日には水俣市のエコパーク水俣・熊本港及び天草市の牛深港の三会場において、放流行事が行われ、各団体の代表者のほか、荅北町からも町長・議長他10名の議員が参加し、タイやヒラメなどの稚魚を放流してきました。

また、牛深港のメイン会場では、様々なイベントが行われ地元の人々も盛り上がり、物産品の販売もあり、荅北町からも、富岡の「蛇踊り保存会」が勇壮な踊りを披露し、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。



牛深港放流

関東からついでに荅北会総会

11月24日、東京霞ヶ関、東海大学校友会館において、「関東ふるさと荅北会」の総会及び懇親会が、会員皆様のほか、来賓を合わせ総勢162名の参加のもと、賑やかに開催されました。

総会では、会長他、副会長などの役員改選があり、現会長の西田さんから、大仁田淳さん(富岡出身)へ引き継がれ、無事に総会が終了しました。

そのあと行われた懇親会では、天草出身の歌手、天草二郎さんの歌謡ショーや地元物産品が当たる福引が行われ大いに盛り上がりました。

会員皆様は、お互い来年の再会を約束し合い、会場を後にさっていました。



懇親会



浜口雅英 議員

一 振興計画

(一) 基本計画の策定状況

質 基本構想、基本計画の策定から5年が経過したが基本構想の見直しは必要無いか。平成26年度から5年間の第12期基本計画策定の進捗は。

町長 見直しは現構想の期限の平成30年度に行い、現時点での見直しは考えていない。

質 基本構想に予測人口が挙げられ、平成25年の見込8,162人。この基準を上回る人口の確保に努めるとある。しかし、25年11月30日の住民登録者数は7,961人。5年間で201人の見込み減に成っている。この事による基本構想の見直しは、

企政 当初作ったものは、30年まで構想として残り、新たに、10年間の構想の中で、見直すという様な形に成る。

質 基本計画の産業の振興について、農林、漁、商、工鉱業、観光、福祉等の産業団体が一体になって新

な団体組織し町の産業振興に取り組み考えは。各種産業団体の実務者と行政が、横の連絡を密にした産業振興は有意義。

企政 検討したい。

質 小学校の統合も、26年から5年間のうちで検討するため計画に入れるべき。

町長 1学年に複数以上在籍があれば、統合すべきではないと考えている。

質 義務教育での学力を完璧に覚えさせるといふ事を基本計画の中で検討すべき。

町長 町道、県道には、起点側と終点側は拡幅改良が済み、その間は狭いままの所がある。外灯や、ガードレールの設置にも配慮し町民の円滑で安全な通行を保つべき。

土管 予算編成、長期計画、振興計画の中で検討する。

質 遊休農地、耕作放棄地が増えている様だ。新規事業用地としての活用を検討したら。例えば、先的一般質問で提案したオリブの栽培。あるいは太陽光発電施設用地等。

農水 耕作放棄地を確認している。国の施策で遊休農地のうち山林化している所は農業委員会の確認で非農地として

所有者の意思により地目変更が出来る。

質 独居老人の見守りは、24時間365日の見守りは厳しい。GPSを使った見守りを長期計画の中で対応すべき。

二 平成26年度予算

(一) 予算編成方針

質 方針は。

町長 イノシシの被害は、農地だけでなく山間部の町道の路側、農業用水路等さえも被害を受けている。早急な対応が必要。

質 郷土資料館、コミセン等の公共施設の、有効利用の為に、リニューアルも検討すべき。温泉センターは、眺望が開けている場所に立地しており露天風呂や、小グループで休憩できる部屋への改築は有効。

道路の維持管理に、指定管理者制度の採用は出来ないか。

今後、さらに町民の高齢化が進み、医療費の増高が予測される中で、高齢者の健康増進、体力増強対策の為、体育施設使用料の減免等を検討すべき。

安全安心な暮らしの為の津波対策については積極的だが、日常生活の基盤整備に對しても、補修、新設など積極的に予算の配分をすべき。

町長 防災対策の強化、産業の育成等、補助事業や限られた自主財源を有効に

活用し、積極的に対策を講じていく。歳入面は、固定資産税が引き続き減収する見込み。地方交付税や地方特例交付金等の国からの収入も大幅な増収は見込めない。歳出面では、児童、高齢者、障害者等への扶助費の増大、広域連合負担金等固定経費に係る財政需要が更に見込まれる。事務事業の徹底した見直しにより経費の抑制に努める必要がある。

四 学校教育

(一) 学校教育の現状と対策

質 町内の中学校で、警察も出動した暴力事件が発生した。統合が進められている中で関係学校の生徒や、その保護者の不安を増大させてはならない。毅然たる方針と、具体的な対策を持って取り組むべき。

町長 お会いしたら良く申し上げておきたい。

教長 1学期の中旬頃から一部生徒の問題行動が発生した。子供相談員、地域の関係者等に係わりを持っていただいている。今後も、家庭と学校、地域が連携して改善を促すよう、係わりを更に深めていただく様にしていきたい。

質 一つは道徳心の欠如が有る。地域社会における道徳心は社会秩序を保つ上で重要。

教長 平成27年度に道徳が正式な教科になる模様。道徳心の醸成の為試行的に26年度から先行して取り入れてはどうか。

三 日本の平和について

(一) 特定秘密保護法の立法化と対応

質 12月6日に法案が可決成立した。立法化に

は、国民世論が二分されている状況。安倍総理に会われた時は、日本の、世界の平和の話題も取り上げていただきたい。

町長 お会いしたら良く申し上げておきたい。

教長 道徳は正規に授業を実施する方向になつていく。26年度から先行したという事だが、時間数とか考えて、検討したい。

県教育委員会と苓北町教育委員会との関係性と具体的な責任のあり方を問う



野田 謙二 議員

問 初めに将来の苓北高校との合併を前提とした説明会があった。そこでの説明とは、人口減少で学校入学者が減り、今のままでは学校の存続は厳しいというものだった。普通に聞いたら、最もまともな何の問題もない答えだ。ところがこの答えでは苓北高校には適さない。苓北高校は県下で唯一の水産系高校だからだ。県下で唯一ということ、天草に限らず県全域からの入学者があると言うことだ。もちろん県外からの入学者もある。その状況で人口減少により学校の存続は厳しいと素直に聞くことは出来ない。

ところが私のような質問を想定していなかったのか、回答には時間が掛かるし、しかも質問をはぐらかして合併を正当化するものであった。私の質問は、合併が駄目だとは言わずに、合併前にもっと考えるべき事があるのではないかと質問したつもりだったのだがこの結果だ。

このように県教育委員会が決めることは、後ほど地域に

説明会を開くばかりで、結果に合理的な意思が伝えられていないのが現状だ。これは昭和30年代までのように、全国的に合理的な意思の疎通が無い状態の時と同じシステムで物事が決められてしまうことが原因と思う。今は高度で難しいというだけで調べれば情報は得られるのが普通だ。ところが、県教育委員会に権限があると言うだけで、結果として独善的な決定がなされることもあるのではないか、ただ後戻りが出来なくなっただけなのではないかと思う。私は間違った決定には、素直に素早く修正出来るシステムを持つべきだと思う。

我々は現在の県教育委員会と苓北町教育委員会の関係性を知らないし、苓北高校と町との関係性も同じだ。どこで意思決定がなされ、どこで最終判断がなされるのかはまるっきり解らない。それが昭和時代に信じられていた理想教育かもしれないが、今は責任を明確にすることが求められていると思う。

町長 現行教育制度のこれまでの状況、これに対する指摘、改革の動きなどについてはご指摘のとおりだ。苓北高校も天草地域にあるその他2校とともに再編対象となったことから、平成23年11月28日に町内小中学校児童生徒及び保護者を対象とした説明会が行われている。また、我々も地元の苓北高校の存続へ向け、県内唯一の水産系高校であるという特殊性、有益性を強調しながら要望を重ねてきた。

このような意見聴取をふまえて学校再編後期実施計画が策定されている。それによると現在の苓北高校については、苓北高校、河浦高校の園芸科学科と再編統合され、1つの専門高校として平成27年4月に開校計画となっている。その中で現在の苓北高校施設地には新設専門高校の校舎を設け、普通科総合コース1学級、海洋科学科1学級の学級編成が予定されており、ほぼ現在の苓北高校と同様の学科設置が予定されている。

このことは、従来から専門

的な水産系学科があったからこそ、苓北校舎(仮)が存続することになった訳であり、普通科については地元からの要望の中で設置して頂いた経緯もあり、引き続き学科の存続が見込まれている事について、良かったのではないかと考えている。

このような状況の中で、私は現在、県町村会の代表として熊本県の教育振興基本計画である「くまもと「夢への架け橋」教育プラン」の推進委員会委員を仰せつかっている。

県教育委員会は、高校・大学等への進学率を上げるといって3年時に自分の将来を見定めることが出来、自分のなりた職業は何なのか、そのためには何処に進めば良いのかの選択が出来る子供を育成して欲しい、そのための教育を行って欲しい、と常々お伝えしている。

◎区長より提出された行政通信について

「迅速な対応と回答を行うべきでは!」

◎町職員採用について

「年齢幅を18歳から30歳までに引き上げる考えは!」



野崎 幸洋 議員

問 町民が毎日生活する上で、区内で上がってきた要望事項等を各区長さんより、区民の同意を得た中で行政通信と言う書面によって、各課へ、要望が出されている。

しかし、数名の区長さんの話しを聞くと、「行政通信を出したが、回答が遅く」また、「現在、予算がないため、今後検討します。」など具体的な期日や、答えがなかなか帰って来ないと聞く。

当然、町としても、努力をされている中で、出来る事と出来ない事案はあると思うが、ほとんどの要望事項は町民の生活に密着している事案であるため、迅速な対応をすべきだと考えます。ここ3年間に各区から上がってきた行政通信の件数とその内容。その要望に対し処理できた件数は何件か?

また、保留になっている件数は何件か?



行政通信の成果

町長 これまでの行政通信については、出来るか出来ないかの返事が遅く、また、区長会からもご指摘が上がつておりましたので、今後は、より迅速な対応を心がけ、出来るだけ早く要望にお応えするよう努めたいと考えている。

過去の実績は、平成22年度は要望件数61件の内、処理済42件・保留13件・却下6件でした。23年度は、要望件数72件の内、処理済53件保留15件・却下4件でした。24年度は要望件数91件の内、処理済63件・保留15件・却下13件でした。

保留については、なるべく早く、そして、「いつまでに」と明記し、できるだけ実現で出来るよう、指導し見守って行きたいと考えている。

問 最近の職員の退職者数と採用者数を見てみると、平成23年4月1日には退職者6名に対し3名の新規採用。平成23年度には退職者0名に対し、採用者1名。24年度は退職者2名に対し4名の採用であった。25年度も3名の退職に対し、1名(町外在住者)を採用予定となっているようである。年々、苓北町の人口も減少傾向にある現在、町職員採用に関しても、

できるだけ町内在住で、年齢幅も現行の18歳から25歳の採用枠から30歳までに引き上げるなど、町職員採用実施要綱の見直しを行い、少しでも、若い人が地元苓北町で働ける雇用場の広げるべきではないかと考える。現在の苓北町職員数は、103名であり、今後5年間の平成29年度までには19名の定年退職の職員が出る予定になっている。今後の採用計画は?

町長 職員の定員管理については、苓北町集中改革プランに基づく定員管理計画を策定している。

平成26年4月1日で99名の計画になっているが中学校跡地利用計画の策定・福祉関係の権限委譲の増加等の要因により、2名の増加予定になっている。

今後も、毎年1名以上、高卒程度で25才までの人を採用し、なるべく若い人が地元で働けるような定員管理に努めたいと考えている。

傍聴記



江上 繁隆 さん
(志 岐) 平成二十五年第二十二回 苓北町議会定例会議を十二月十二日(火)初めて傍聴に

参加させていただきました。開会前場内はピリツとした雰囲気を感じました。場内へ入るとき議事日程表をいただき、開会前に質疑内容を確認し開会時間を迎えました。進行は日程表に沿って進み、議員さん

の一般質問に入りました。質問書は事前に議会事務局に提出されているとのこと。質問内容を作成するには地域の方の要望、現地調査、確認等かなりの時間がかかることだと思います。

そうした活動が町民の町政に係れる機会であり、町議会の傍聴は具体的な町政への参加の第一歩だと思います。将来に向けて、苓北町が健全で希望のある豊かな町政になるよう各議員さんに頑張っていたいただきたいと思



吉田 修一 さん
(坂瀬川)

とに心苦しさを感ずります。かなり遅れて議会に到着、傍聴者名簿にはすでに大勢の名前が並んでいて、最後尾の欄に記入。傍聴席に入ると満員状態、かろうじて一番奥の空いている席を見つけ着席。一般質問はというと、町職員を毎年継続して採用してはなご基本的な方針について質問や提案をされていました。他に

も数名の町議さんが教育問題や苓洋高校の再編等様々な町政の課題について質疑応答や意見・提案がなされていました。苓北町をよくしようと願う町議会及び町議の皆さんのたゆまざる努力が伝わってきます。

町議会は町民と行政をつなぐ架け橋であり、町民の意志を伝え、より良い町政を推進するところだと思います。また町民は、町政の課題に関心を持つことによって、公共心に富み、郷土を愛する町民に成長します。苓北町の更なる発展につながって行くと思

その意味でも、多くの方々が町議会を傍聴することが入口の一つであり、そのための関係者の創意工夫、努力をお願いします。

町の文書管理について

町の文書管理は町民の権利保護に関わる重要事項。保管場所は十分確保され、安全な状況でしょうか？文書管理規定の制定から50年を越え、内容が実情に合わない文言も見受けられる。この際見直しをされてはいかがでしょうか。



錦戸 久幸 議員

ACII石炭灰行政の展望と課題

町長 文書管理については、管理規定により永久保存から1年保存までに分類し、各課毎に書庫へ保存して、重要な書類は金庫に保管している。管理規定改訂のご指摘のと

おり、第26条の文書発送の規定は実情に合っていないので現状に合わせて改訂したいと思

用はどの位かかり、その内町負担はどうなりますか。

町長 阿蘇市の場合、おおむね一ヶ月所要で県の所有とのこと。町負担額については、災害の規模により変わってきます。

問 広報れいほくの平成25年11月号の記事によると「熊本県地震・津波被害想定調査によると苓北町では約900世帯が浸水・倒壊の恐れがあります。それに備えて町では、現有の町有地では240戸しか建てられないので、麟泉の湯横の防災公園を整備してもまだ300戸余り不足します。これからも町では、できるだけ多くの仮設住宅用地を造る予定ですので、ご理解をお願いします。」とある。

町長 法人にお聞きしたところ、25m以上の同時造成について農地転用許可申請手続きの準備をされているとのこと。

町長 仮に、900世帯分ればならない時、入居するま

問 今までのような仮設住宅用地造成の考え方より人口減少超高齢化が進む我が町にとっては現存する町有施設等を有効活用するべきと思うがどうか。

問 災害にはいくつもの形態があるが同時に町内全域が被災することは考えにくい。

るが、地形的に関連施工の要有りと思うが町工事の完成や工期に影響はないのか伺います。

現工事の進捗状況を見ながら若干、計画変更をして工期内に完成させたい。

町長 仮設住宅用に学校の教室を仕切つてということですが、考えてみて下さい。

津波被害で約900世帯というが具体的に線引きし、町民に周知するべきではないか。町人口もピーク時の半分以下になり、少数世帯が大半になり、別棟所有世帯もあり、押し入れには夜具もある。日頃から民間の協力を頂くことで、もしもの事があってもその日の内から雨露を凌げることができると思う。

この記事の横に石炭灰(ACII)7万m²を使用する避難地が工事中で、その様子を2枚の写真入りで紹介している。この上の部分は法人の方が造成されると聞いてい

また、仮設住宅には電気、水道、下水道等必要になる。これらを含めた全体の造成費

短期間の避難にはいいでしょうが、2年も3年も私は言えません。

※以降の質問・答弁省略



施工中の2次避難所(上津深江)